

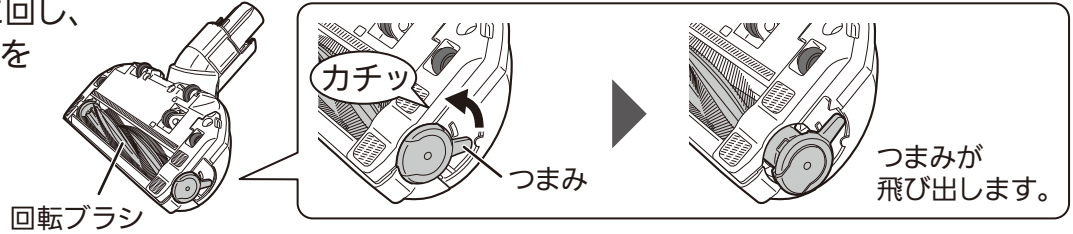
# パワーブラシのお手入れについて

## お掃除ごとのお手入れをおすすめします。

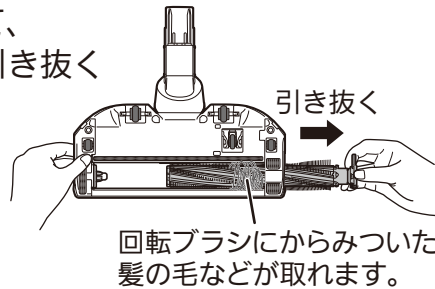
(パワーブラシの形状は、機種により異なりますがお手入れ方法は同じです)

### 1 回転ブラシをはずす ※必ずパイプからはずして、お手入れしてください。

①つまみを矢印方向に回し、  
回転ブラシのロックを  
はずす

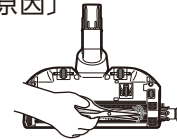


②つまみを持って、  
回転ブラシを引き抜く



おねがい

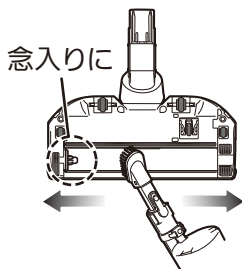
- からみついた髪の毛などで回転ブラシが引き抜きにくい場合は、ハサミで切ってください。
- 回転ブラシをむりやり引き抜かないでください。〔故障の原因〕



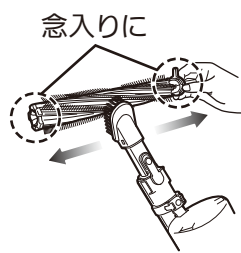
回転ブラシの植毛を切らないようにしてください。

### 2 毛ブラシでお掃除する

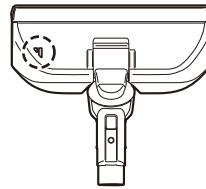
〈パワーブラシ裏面〉



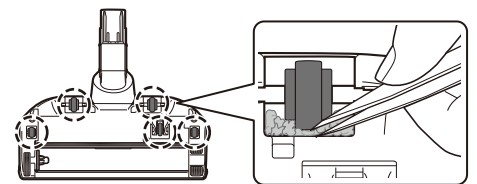
〈回転ブラシ〉



〈通気口〉



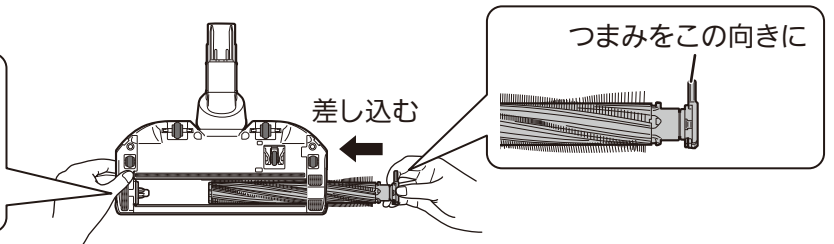
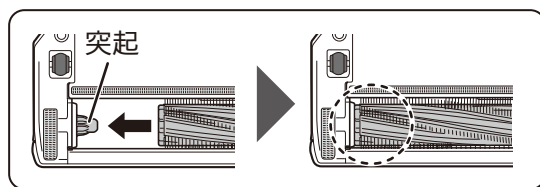
〈車輪(4カ所)・回転ストッパー〉



吸い取れないゴミなどはピンセットなどで取り除く

### 3 回転ブラシを取りつける

①回転ブラシの先端を突起に差し込む



②つまみをロックする



おねがい

回転ブラシを正しく取りつけてください。〔故障の原因〕



プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりした状態でパワーブラシを使うと、吸込力の低下やパワーブラシの故障の原因になります。

プリーツフィルター・プレフィルターをこまめにお手入れしてください。裏面

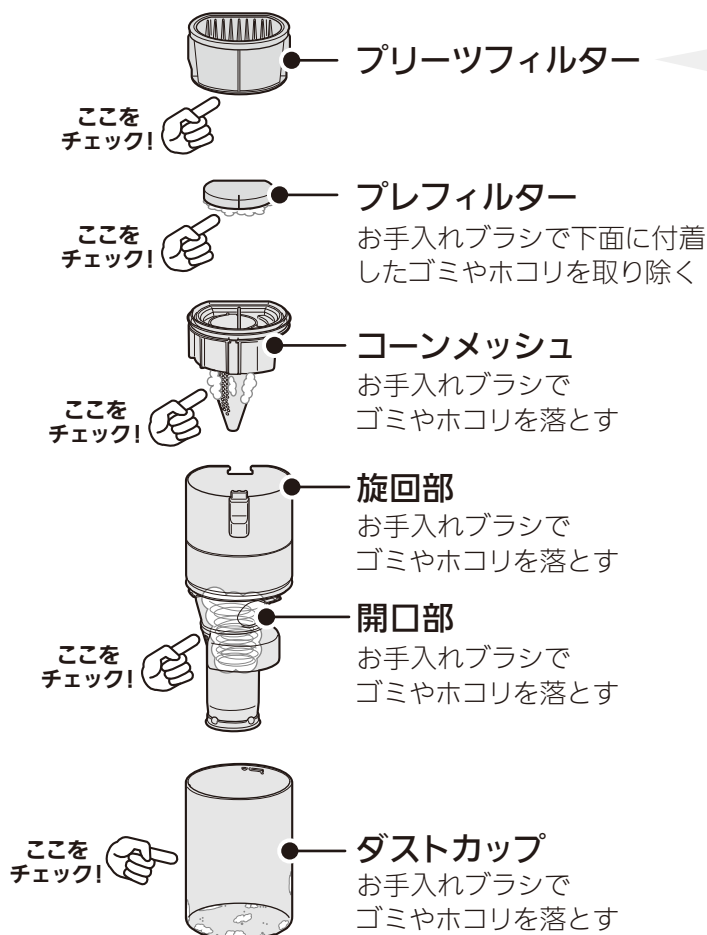
# サイクロンボックスのお手入れについて

■吸込力を持続させるために、お掃除ごとのゴミすてをおすすめします。

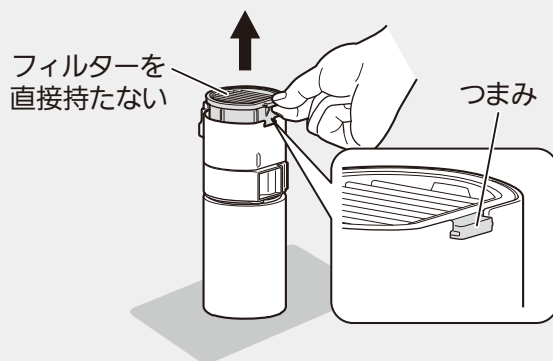
■下記の症状がある場合は、**サイクロンボックスの全ての部品をお手入れしてください。**

- お知らせランプ(赤)が点滅する
- 運転中に吸込力が弱くなる、運転が止まる
- 充電してもすぐに運転が止まる

## サイクロンボックスの各部品のお手入れ

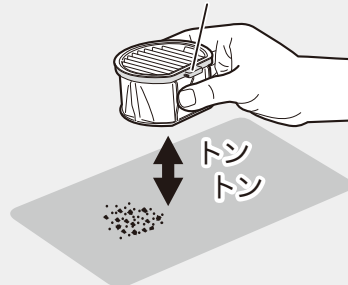


①つまみを持ってはまず



②新聞紙などの上でしっかりとたたいて裏面のゴミやホコリを落とす  
(フィルターの奥にゴミやホコリが付着しています)

パッキン(つまみ)を上にする



ゴミやホコリが出なくなるまでしっかりとたく

おねがい

- お手入れブラシでプリーツフィルターをこすらないでください。  
[プリーツフィルターが破れる原因]
- プリーツフィルターを水洗いする場合は、ゴミやホコリをしっかりと落としてから水洗いしてください。  
[ゴミやホコリが詰まったまま水洗いすると、目詰まりの原因]

詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

ZT791C008H01